

- 1 調査名 「発酵鶏糞堆肥」施肥効果の検討
- 2 目的 「発酵鶏糞堆肥」(にんじん)の適正な施用について調査・研究し、家畜排泄物を利用した堆肥、肥料の利用を促進するとともに循環型農業の普及を図る。

3 耕種概要

- (1) は種月日 平成24年5月16日
- (2) 栽植距離 うね幅120cm×株間10cm×条間20cm×4条 33,000株/10a
- (3) 土壌診断結果

調査区名	pH	EC (mS/cm)	有効態リン酸 (mg/100g)	リン酸吸収係数 (mg/100g)	CEC (me/100g)	塩基飽和度 (%)	石灰 (mg/100g)	苦土 (mg/100g)	カリ (mg/100g)
作付前	7.0	0.08	95.2	1,794.7	28.0	79.8	400.40	135.76	63.61
試験区1	7.0	0.10	107.1	1,738.2	23.6	88.2	400.31	108.59	54.87
収穫後 試験区2	6.8	0.10	124.6	1,701.0	25.3	80.7	398.77	102.76	53.79
慣行区	6.8	0.10	121.6	1,726.4	25.1	79.0	384.11	99.40	57.58

(4) 施肥設計

調査区	肥料名	成分 (%)			施肥量/10a (kg)	追肥	成分量/10a (kg)		
		N	P	K			N	P	K
試験区1	堆肥	2.49	4.48	3.59	480	NK化成 (16-0-18)	18.4	21.5	24.4
	堆肥	2.49	4.48	3.59	240				
試験区2	野菜エコブレンド	10.0	10.0	10.0	60	40kg/10a	18.4	29.7	22.8
	パワーリン	-	30.0	-	43				
慣行区	野菜エコブレンド	10.0	10.0	10.0	120		18.4	24.9	19.2
	パワーリン	-	30.0	-	43				

※追肥としてNK化成(16-0-18)を40kg/10a施肥

4 収量調査(調査日8月9日)

調査区名	根長 (cm)	根径 (cm)	根重 (g)	糖度 (%)	A品率 (%)	総収量 (kg/10a)
試験区1	17.9	4.4	143.1	8.5	93.3	3,777
試験区2	18.3	4.5	149.8	9.3	100.0	3,955
慣行区	18.3	4.7	161.4	8.1	100.0	4,262



5 結果の概要

- ①生育状況については、生育初期では地上部、地下部ともに慣行区、試験区2、試験区1の順で生育が進んでいた。収穫時でも同様の結果となった。
- ②病害虫については、全ての区で確認されなかった。
- ③総収量については、慣行区、試験区2、試験区1の順で高くなった。
- ④品質については、試験区1で股割れが若干発生したものの、差は見られなかった。

以上の結果から、発酵鶏糞堆肥は、低温時に使用する場合、肥料の溶出が化成肥料に比べ遅れる傾向にあるため生育は遅れるものの、品質については問題無いと思われる。